

# << 共 育 セ ミ ナ ー 報 告 >>

11/17 (日) 第86回

**Origami! ワクワクを形にしませんか**  
 ~ 人生豊かに 自分時間のすすめ ~

講師：ながた ひろふみ さん  
 (折り紙講師/レクリエーション介護士)

今回の講座は、前半は永田さんが社会参加をされてきた経緯、後半はワークショップの事例紹介でした。講師の自己紹介のあと、皆で作ったのがこの正三角錐↓  
 図の通り折って下さいと言われ、四苦八苦脳が活性化された? 正三角形の4面には違うことが記されていて、ある1面に本日のスケジュール書かれていました。



男性は女性とは違い、地域に知り合いがいないことや、人の輪に入りにくいことがネックとなり、社会参加がしにくい。一方、65歳以上の男性の1日当たりの平均自由時間は約10時間(H28総務省統計局データより)もある。会社のライフプラン講座を受講し自分時間の大切さを再認識した。「自分が大切にしたい軸」を見つけて、はつらつと生活する…にはと考えた。

まず、永田さんは仕事上の特技を生かし、町内会のHPの立ちあげに関わることとなり、そのおかげで地域に知り合いができた。

「大切にしたい軸」として見つけたのは「おりがみ」。折り紙は安価でサイズもいろいろあり、100均でも簡単に手に入り、形にする楽しさがある。これを道具にして、おりがみ同好会をつくり、おりがみの講習会を開き、ボランティアを行っている。活動の場は介護老人施設、こども食堂、図書館などと広がってきているとのこと。



ワークショップをする時、準備で心掛けていることは時間内に終わる題材選び ⇒ 達成感が味わえる作品作り  
 中途半端にならないように、一部を作っておくことや、セットにしておく。季節感のあるものを作る。また後から作れるように説明書を入れておく、等。まだ仕事をしているので、ボランティアをするのは土曜か日曜で、これらの作業は夜中にするとか。

この活動を始めて日本折紙協会の折り紙講師の資格を取り、介護の現状を知るためにレクリエーション介護士2級の資格を取ったとのこと。

おりがみからパステルアートに…パステルアートは、グラデーションが簡単に作れるので、絵が苦手な人でも楽しく描けます。折り紙と組み合わせたものなどが展示されていました。さらに発展させられるように、福祉の勉強をし、色の研究もされているそうです。

後半はサンタさんを折り、クリスマスカード作り。作り手の個性が出ているサンタが勢ぞろいしました。



展示されていた  
**「金属折り鶴」**



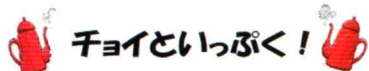
パソコンを使って展開図を描き、それを厚さ0.1mmのアルミに貼り付け、折り曲げるとのこと。折る失敗は許されない!? 詳しく知りたかったと参加した方の声がありました。

今回、お話しを聞くのも良かったが、もっとおりがみを折ってみたいかったという意見がありました。おりがみの関心の高さが伺えると思います。

来年の干支  
 のねずみ



「大切にしたい軸」を未だ見つけていない方、身の丈に合ったところから、「軸」探しをしてみませんか。  
 明日と言わず、今日から!



**やまと国際フレンドクラブ (IFC)**  
**「食」がつなぐ友だちの輪**

「できるときに、できることを」をモットーに、大和市に住む外国にルーツをもつ方々との交流、多文化共生を目指して活動している「やまと国際フレンドクラブ」のイベント。中でも「学べ〜る」や「やまと国際アートフェスタ」「インターナショナルフェスタ」は、ご存じの方も多いのではないのでしょうか? 今回は、泉の森ふれあいキャンプ場で開催している、集まって、食べて、おしゃべり「だべ〜る」を紹介します。ここ最近では、本場ブラジル式のバーベキューを楽しんでいます。厚いお肉を焼くのはもちろん、グルグルとぐるを巻いたような大きなソーセージをそのまま炭火で焼いていただきます。特に珍しいのがバーベキューの最後を飾るパイナップル焼き。ブラジルの定番だそうです。砂糖をたっぷりまぶしたパイナップルを炭火でじっくり、こんがり焼いて、まわりがちよっと飴のようになってきた熱々のパイナップルをフーフーいいながら食べるのが最高です。



次回はあなたもぜひ!  
 長谷部 美由紀

11月10日(日)はれ

「センター」のある日ある時

「ふれあいまつり」の看板作り。2日前の金曜日 近くの自治会の人たちが市民活動センターのラミネートを使用に来ました。「時間があったら、手伝いに来てよ!」当日7:30の集合。テント張りや電源コードのセット等をした後「ポップコーン」のグループに加わりました。長い行列で待ちながら、子どもたちは珍しそうにポップコーンがポンポンとはじける様子を大騒ぎしながら見えています。ある男の子が「僕のあふれる涙みたいだ!」周りの大人たちは思わず手を止めてビックリ!「僕、詩人だね!」「すごい発想だ!」楽しみになって順番の子たち次々に聞いてみました。「昼の花火だ」「コーン船、宇宙へ出発!」ある子が大きな声で「おしっこじゃー!」私の子どもの頃と同じ仲間がいて笑いながらホッとしました。 望月